

SONY[®]

ユーザーガイド

ノイズキャンセリング機能搭載
ハイレゾ・オーディオ対応
ヘッドセット

MDR-NC750

2015年10月(第1版)

目次

はじめに.....	3
製品の概要	3
音をクリアに.....	3
各部の名称	3
本機の使用について.....	4
使いかた.....	4
イヤピースの交換方法.....	4
クリップの使いかた.....	5
主な仕様.....	5
Legal information	6
Declaration of Conformity for MDR-NC750	6

- 本ユーザーガイドに記載されている操作方法は、Xperia に搭載されているアプリやインストールしたアプリのバージョンによって異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

はじめに

本機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機をお使いになる前に付属の取扱説明書を必ずお読みください。

製品の概要

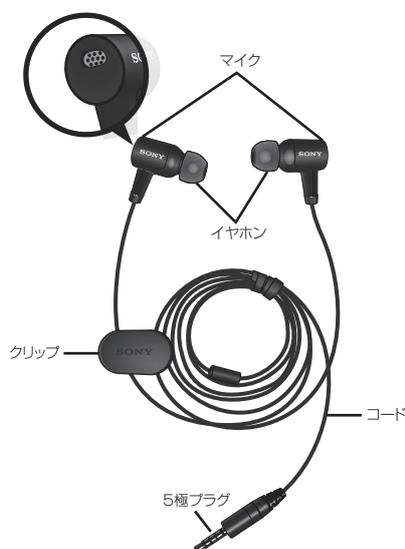
音をクリアに

本機は Xperia™製品(以下、Xperia という)専用のノイズキャンセリング機能搭載ハイレゾ・オーディオ対応ヘッドセットです。周囲からの騒音を低減して音楽をクリアに再生します。

！ 注意

- 対応機種以外のステレオミニプラグ付きの機器では正しく動作しません。対応機種に関する詳細は下記ホームページをご確認ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/product/accessories/mdr-nc750/>
- ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すものです。高い周波数帯域のノイズに対して効果はありません。また、すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 本機のイヤホン部分にはマイクが搭載されています。本機を使って通話をする際はマイク部分を手などで覆わないでください。
- プラグやコード分岐部分を巻きつけないようにしてください。負担がかかりやすく断線につながる恐れがあります。
- イヤーピースは長期の使用、保存によって劣化する恐れがあります。

各部の名称



本機の使用について

使いかた

- 1 本機を Xperia に接続し、Xperia で [設定] → [音と通知] → [アクセサリ設定] → [ノイズキャンセル] → [ヘッドセット/ヘッドホン] を順にタップし、表示される一覧から「MDR-NC750」を選択する
 - ノイズキャンセル機能がオフになっていると、[ヘッドセット/ヘッドホン]をタップすることができません。この場合は、ノイズキャンセル機能をオンにしてください。
- 2 耳にイヤホンを差し込む
 - ㊸側を右耳に、㊹側を左耳にイヤホンと耳の穴が密閉するように差し込んでください。
- 3 Xperia で音楽や動画などを再生する
 - 再生については Xperia の取扱説明書をご覧ください。

！ 注意

- イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえなかったり、ノイズキャンセリング機能の効果が得られなかったりする場合があります。より良い音質でお楽しみいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整したりするなどぴったり耳に装着していただくことをお勧めします。
- ノイズキャンセリング機能をお使いになるには、Xperia のノイズキャンセル機能がオンになっていることを確認してください。

💡 ヒント

- Xperia の「DSEE HX」機能をオンにすると、CD 音源や圧縮音源をハイレゾ相当の高解像度音源にアップスケーリングできます。
- 1 Xperia で [設定] → [音と通知] → [オーディオ設定] を順にタップする
 - 2 「DSEE HX」のスライダーを右側にスライドさせ、設定をオンにする
 - お使いの Xperia によっては、設定方法が異なる場合があります。詳しくはお使いの Xperia の取扱説明書をお読みください。

イヤーピースの交換方法

耳のサイズに合わせて、付属のイヤーピースを交換してください。

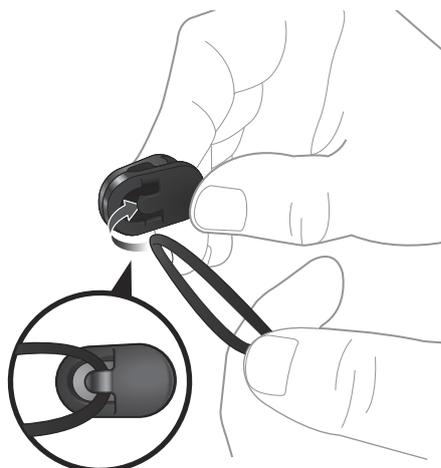
- 1 イヤーピースのサイズを確認する
- 2 イヤホンを押さえた状態でイヤーピースをねじりながら引き抜く
- 3 イヤーピースをねじりながら押し込む
 - イヤホンの突起部分が完全に隠れるまで押し込んでください。

！ 注意

- イヤーピースの取り付けかたが不十分だと、耳に差し込んだ際にイヤーピースが外れて耳の中に残り、けがや病気の原因となることがあります。

クリップの使いかた

1 クリップにコードを差し込む



2 クリップを服にとめる



主な仕様

コード長	約 1080mm
質量	約 15g
入力プラグ	3.5mm ステレオミニプラグ (5 極)
形式	密閉ダイナミック型
ドライバーユニット径	9mm
周波数帯域	5 ~ 40,000Hz
インピーダンス	31Ω
マイク部	全指向性エレクトレットコンデンサー型

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

Legal information

Sony MDR-NC750

ご利用になる前に、別紙の取扱説明書をお読みください。

本ユーザーガイドは、Sony Mobile Communications Inc. または各地域の関連会社が保証なしで発行するものです。誤植、不正確な情報、またはプログラムおよび/または機器の改良による本ガイドの改訂および変更は、予告なく任意の時に Sony Mobile Communications Inc. が行います。当該変更箇所は、本ガイドの改訂版（最新版）に適用されます。

All rights reserved.
©2015 Sony Mobile Communications Inc.

ソニーおよび SONY はソニー株式会社の登録商標です。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。All rights reserved. 本書に記載された商品および会社名はすべて各所有者の商標または登録商標です。ここに明示されていない他の権利についても権利を留保します。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。詳細は、<http://www.sonymobile.co.jp> を参照してください。イラストは説明を目的として使用されており、実際のアクセサリーを正確に示すものではありません。

Declaration of Conformity for MDR-NC750

We, Sony Mobile Communications AB of
Nya Vattentorget
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product
Sony type AG-0020
and in combination with our accessories, to which this declaration
relates is in conformity with the appropriate standards
EMC
EN 301 489-7:V1.3.1
following the provisions of, EMC Directive 2004/108/EC.

Lund, July 2015



Fredrik Björk,
Head of Product Compliance Lund
We fulfil the requirements of the EMC Directive (2004/108/EC).

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.